

# ほっかいどう

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

January 2026

vol.265  
令和7年12月発行

1  
月号



## 特集1 北海道から世界へ! スポーツの未来

北海道は、夏は冷涼な気候、冬は良質な雪に恵まれるなど、スポーツをする者にとって好条件がそろっており、豊かな自然環境を生かし、これまで、国際的・全国的な規模のスポーツの競技会で活躍する選手を数多く輩出してきました。その活躍する姿は、道民に夢と感動、そして、未来への希望を与えるとともに、スポーツへの関心を高めています。道では、世界で活躍するトップアスリートを目指す競技者を支えるさまざまな取り組みを進めています。

## 特集2 進化を続ける 北海道のワイン / 北海道産日本酒の今

北海道では、近年、新しいワイナリーや酒蔵が次々と誕生しています。道内各地域のワイナリーや酒蔵が切磋琢磨し、おいしいワインや日本酒づくりに取り組んでいます。国内外で注目を集める北海道産のワインと日本酒をどうぞお楽しみください。



### 年末年始のご挨拶

道民の皆さまにおかれましては、この1年間、道政の推進にご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。新しい年においても、本道の「食」の豊かさやGX、AI-DX産業の集積などを、北海道という挑戦の大地で皆さまとともに大切に大きく育てていくために、引き続き全力で道政に取り組んでいきますので、よろしくお願い申し上げます。令和8年が、皆さまにとりまして、大きな飛躍の年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

広報紙の特集を動画で!

今号の速ヨミ!

ダイジェスト動画は右の二次元コードから!

広報紙 ほっかいどうクイズ

プレゼントが当たるクイズ企画を実施。右の二次元コードからアクセス!

WEB限定コンテンツ公開中!

広報紙「ほっかいどう」ウェブサイト

北海道広報番組

「深掘り北海道」

特集 ウィンタースポーツ

STVテレビ  
令和7年12月21日(日)  
13時00分～(予定)

番組を見逃した方はこちらからご覧いただけます。>>

MC▶ハンバーガーボーイズ

女子カーリングチーム



2014年ソチオリンピック出場(5位)、2021年パシフィックアジアカーリング選手権優勝など、世界を舞台に挑戦を続けている。  
※ミラノ・コルティナオリンピック世界最終予選日本代表

インタビュー

**近江谷 杏菜選手**  
北見市出身。正確で力強いスウィープ、多彩なショットで、観客を魅了する。

**吉村 紗也香選手**  
北見市出身。持ち前の負けず嫌いな性格と粘り強さでチームを引っ張る。

現在の活動状況や、チームの雰囲気

日本代表決定戦の直後から、カナダ遠征に入り毎週大会に出場して、経験を積み重ねています。緊張感は少しずつ高まってきましたが、課題に向き合いながら前向きに取り組んでいます。

普段の練習や試合前に意識していること

普段の練習では、自分の中で何か1つ今日の目標を立てて取り組んでいます。試合前には、良いイメージを持ってアイスに上がることが常に意識しています。

**小林 未奈選手**  
釧路市出身。スポーツリーダーの知識と、チャレンジ精神で競技に励む。令和2年度北海道スポーツ賞受賞。

**小谷 優奈選手**  
神奈川県相模原市出身。持ち前の向上心を武器に、積極的なプレーを展開。

競技をはじめたきっかけ

どうぎんカーリングスタジアムでの体験会に参加したのがきっかけです。難しさの中にあるショットが決まった瞬間の爽快感に魅了されてカーリングの沼にハマりました。

カーリングの魅力や注目してほしい点

理想どおりの状況ではなかったとしても、チームワークで補い合い1つのショットを成功させることができるのが魅力です。チームのコミュニケーションの様子なども注目してください。

**小野寺 佳歩選手**  
北見市出身。力強いスウィープと繊細なソフトウェイトショットが持ち味。

詳細はこちらから！



インタビュー詳細ウェブサイト



フォルティウスウェブサイト

道民へのメッセージ

いつも応援ありがとうございます。カーリングは氷上で技術や戦術をぶつけ合う熱いスポーツです。寒さに負けず、熱い気持ちで一投一投、挑み続けます。これからも応援よろしくをお願いします！

特集1 北海道から世界へ！

スポーツの未来！

～世界で活躍する本道ゆかりのアスリートを応援～

道の取り組み

北海道タレントアスリート発掘・育成事業(北海道TID)

冬季競技に特化し、競技経験の有無にかかわらず有能な選手を発掘。日本代表入りを目指して、オリンピック等からの競技指導や教育プログラムなどを実施し、計画的に育成する取り組み。これまでに31名の中央競技団体強化指定選手を輩出しています。

フォルティウス的小林未奈選手は北海道TIDの修了生！

「小学6年生の時に北海道TIDの育成選手に選出され、オリンピックで金メダルを取るという大きな目標を持って競技を続けてきました。小学生のころから世界の舞台を本気で目指せたことは、自分にとって大きな財産です。今の私があるのは北海道TIDのおかげだと思っています。」



TID生時代の小林未奈選手

道内ゆかりの選手の活躍に期待！

ミラノ・コルティナ2026(イタリア)

冬季オリンピック 2026年2月6日(金)～22日(日)

冬季パラリンピック 2026年3月6日(金)～15日(日)



オリンピックウェブサイト



パラリンピックウェブサイト

舞台裏で輝く人たち

～パラリンピック選手を支える情熱～

インタビュー

パラスポーツの魅力は

チェアスキーは、時速100kmを超える速度で斜面を降り、クロスカントリーでは、腕の力だけで20kmの距離を滑走します。パラアスリートが自身の可能性を信じて躍動する姿がパラスポーツの最大の魅力だと思います。北海道などと連携し、「パラアスリート発掘プロジェクト」などの取り組みを通じて、多くの方にパラスポーツに触れていただく環境づくりを進めています。

道の取り組み

北海道スポーツみらい会議

スポーツを通じた健康で豊かな暮らしづくり、魅力ある人づくりや地域づくりを進めるとともに、持続可能な社会の実現に向けた関係者による協働の取り組みを進めています。



パラアスリート発掘プロジェクト パラバイアスロン体験の様子(荒井氏指導)

アイスホッケー女子日本代表



うき た る い RUKUKITA  
浮田 留衣選手 ポジション FW

釧路市出身。力強いシュートを武器に女子日本代表としてオリンピックに3度選出、2025年のアジア冬季競技大会では金メダルを獲得。平成26年度北海道スポーツ賞受賞。

インタビュー

日本代表チームの雰囲気は

ミラノ・コルティナオリンピックに向けて、選手一人ひとりが、プレーの質を上げて、自身の良いところをアピールすることに集中しています。それが最終的にチームとしての強さになると信じています。

オリンピックに向けて

オリンピックの予選ラウンドから強豪国と対戦することになりますが、そこを圧倒的な力で勝ち上がるくらいでなければ、目標とするメダル獲得まで到達できないと思っています。自分達の力を次のレベルに引き上げられるよう、残り短い期間ですが、最後まで集中して取り組んでいきたいと思っています。

道民へのメッセージ

北海道には氷都と呼ばれる都市が多くあり、私にとってアイスホッケーは身近なスポーツでした。アイスホッケーは、氷上の格闘技と呼ばれるほど、見ていただく方の心を熱くさせるスポーツだと思いますので、ぜひ、興味を持っていただき、応援していただければうれしいです。

ミラノ・コルティナ2026パラリンピック 冬季競技大会日本代表選手団副団長

北海道エネルギー株式会社 スキー部監督

あらい ひで き 荒井 秀樹さん



道民へのメッセージ

パラリンピックでの各選手の活躍が、障がいのある方や高齢者の方など誰もが健康的な生活を楽しむことができる社会を作るきっかけになればと思います。ミラノ・コルティナパラリンピックに挑む選手に温かい応援メッセージをいただけたらうれしいです。



クロスカントリースキーでミラノ・コルティナパラリンピック出場を目指す北海道エネルギー株式会社 スキー部 松上 尊葉選手

日本パラリンピック委員会の各SNSからパラリンピック選手への応援メッセージぜひお寄せください！



X Instagram Facebook

東京2025デフリンピック(2025.11.15~26)

デフリンピックは4年毎に開催される「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」です。本道出身の選手の活躍をお知らせします。



金銀2つのメダルを獲得した森本悠生選手

- 森本 悠生 選手(札幌市出身) ● バドミントン混合団体 金メダル ● バドミントン男子ダブルス 銀メダル
- 沼倉 昌明 選手(小樽市出身) ● バドミントン混合団体 金メダル
- 石原 美海 選手(苫小牧市出身) ● バレーボール女子 金メダル
- 川畑 菜奈 選手(札幌市出身) ● サッカー女子 銀メダル
- 木村 亜美 選手(小樽市出身) ● 卓球女子団体 銀メダル
- 川真田 結菜 選手(北広島市出身) ● 水泳女子4×100mメドレーリレー 銅メダル

## ワインの新銘醸地・北海道

北海道の各地域では、その気候風土を生かしたワイン造りが盛んに行われています。道内のワイナリー数はこの10年間で33カ所から75カ所(令和7年10月末現在)と年々増加し、「GI Hokkaido」の認定やオリジナル品種「山幸(やまさち)」の国際ブドウ・ワイン機構(OIV)品種登録など、道産ワインは国内外から大きな注目を集めています。道では、人材の育成に加えて、各種プロモーション活動・輸出の拡大などを通じた道産ワインの消費拡大に取り組んでいます。



### 道内各エリアの特徴

<b>後志エリア</b> 温暖で果樹地帯である余市町、仁木町を中心に北海道全体の約半分のワイナリーが集中している。	<b>空知エリア</b> 風光明媚な景色にブドウ畑が溶け込み、自然と調和した景観の美しいワイナリーが多い。	<b>上川エリア</b> ミネラルを多く含んだ高い糖度のブドウや、アイスワイン用のブドウも収穫されている。
<b>道東エリア</b> 道産ワインを牽引してきた十勝ワインによる品種開発が行われた土地で、栽培と醸造の独自技術が蓄積している。		
<b>道南エリア</b> 土壌や気候にも個々の特色がみられ、ワイナリーやブドウ園の進出が注目される。	<b>札幌近郊エリア</b> ワイナリーごとのブドウ品種やワイン造りの違いが特徴的。	各ワイナリーの詳細は、二次元コードからご覧いただけます。

### 道内ワイナリー数の推移



### 道産100%ワインの目印「GI Hokkaido」

「GI制度」は、地理的表示のことを指し、地域の農産物や食品をブランドとして登録、保護する制度です。平成30年6月、国税庁からワイン産地として「北海道」が指定されました。



### 特集2

## 進化を続ける 北海道の ワイン

### 北海道ワインアカデミー

道内でワイン造りに携わる方々にブドウ栽培・ワイン醸造技術やマーケティングを中心とした経営のレベルアップにつながる研修会を開催しています。これまでに261名の修了生を送り出し、このうち、45名(33事業者)(令和7年10月末現在)が新たにワイナリーを開設しました。



### 海外プロモーション

ASEANにおける道内ワイン事業者の認知度の向上及び販路拡大に向け、現地の酒類バイヤー、飲食店などを対象とした、道産ワインのPRと販路拡大を図るセミナー及び商談会を開催しました。



シンガポールでの商談会の様子(令和6年11月)



タイ(バンコク)での商談会の様子(令和7年1月)

### 道内各地のワインをどさんこプラザで

JR札幌駅西通北口にある北海道どさんこプラザ札幌店では、道内各地域の個性豊かなワインを取りそろえて販売しているほか、イートインコーナーでは、道産ワインやチーズなどの道産食品をスタンディング形式で有料試飲・試食することができます。また、その他道外各店舗やWEB販売でも、道内各地のワインなどをご購入いただけます。



どさんこプラザ  
店舗一覧



楽天  
市場店



Yahoo!店

## 地域情報

北海道の各地域から話題をお届けします。

### 十勝地域 道内オリジナル品種「山幸」

池田町で開発されたブドウ品種「山幸」が令和2年国際ブドウ・ワイン機構(OIV)の登録品種となりました。十勝地域では「山幸」を核としたワイン産地形成に向けた取り組みが進んでいます。



### 空知地域 「空知ワイン協会」設立

令和7年2月、気候変動への対策やブランド力向上など、個々のワイナリー・ヴィンヤードでは解決できない課題に協力して取り組み、ワインを通じた地域振興を図るため、空知総合振興局が旗振り役となり「一般社団法人空知ワイン協会」が設立されました。協会では、消費者向けのイベント「Wine Unity ～空知と君のあいだに～」を開催するなど、「空知ワイン」による地域振興の活動に取り組んでいます。



「Wine Unity」の様子

## 地域おこし 協力隊 Café

八雲町



ほっかいどう  
地域おこし協力隊  
ロゴマーク

今回は、ワイン造りに取り組む八雲町の隊員を紹介いたします。

八雲のチーズや海産物をもっとおいしくする  
ワイン造りに夫婦で奮闘する毎日です!

石狩市出身 茂木真夕子さん



一次産業に携わっていた夫の経験と私のソムリエの資格を生かして、八雲の魅力をもっと伝えようとするワイン造りを進めています。現在、チーズやホタテなど地元の食材に合うワインを目指し、ヤマソービニオンとシャルドネといったブドウを栽培しています。本数は着実に増え、少量ですが天然酵母でのワインの試験醸造にも成功しました。今後は規模を順次拡大し、ワイナリーの開業を目指しています。皆さんが八雲を訪れるきっかけにいただけたらうれしいですね。



夫の琢磨さんと二人三脚で

さらに詳しく!  
記事はこちら!



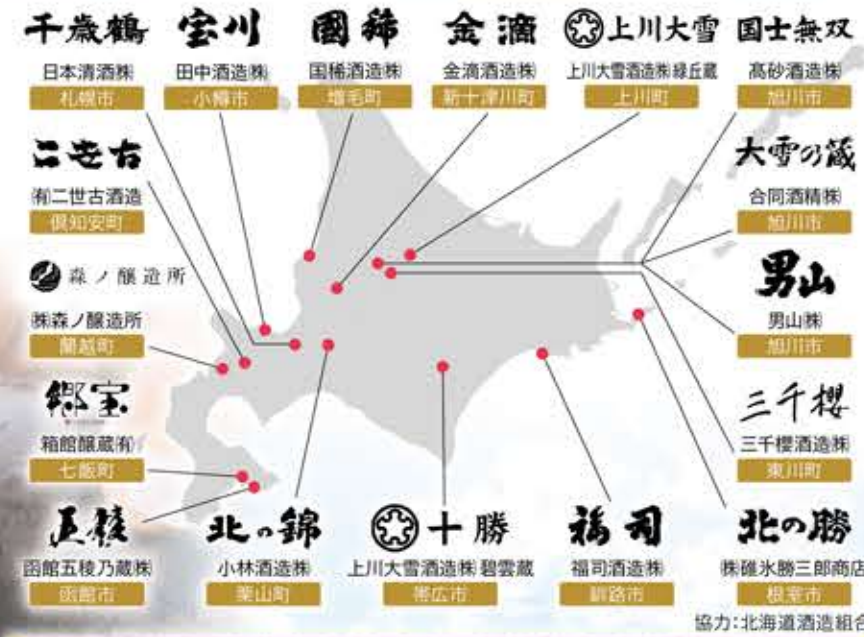
広告

広告

# 特集2 北海道産 日本酒の今

世界が認めた、北海道の恵みを醸す技

北海道は、おいしい日本酒造りに適した清らかな水や豊かな土壌に恵まれています。これに加えて品種改良により道産酒米の品質も向上しています。道内では近年、新たな酒蔵も誕生し、現在、全道の16酒蔵17製造場で道産酒米などを使用した多様な日本酒が造られています。道産の日本酒は、国内外で高く評価されており、道では、道産日本酒の消費拡大に向けたさまざまな取り組みを進めています。



## 北海道の酒米を使用したおすすめの日本酒

道では、北海道の酒米を使った各酒蔵おすすめの日本酒の動画を公開しています。また、各酒蔵の詳細やさまざまな日本酒の特徴をウェブサイトで紹介しています。ここで紹介した日本酒は、各酒蔵のオンラインショップなどでもお買い求めいただけます。

ナビゲーター 熊田架凜さん  
 銘酒の裕多加 取締役専務  
 アメリカ・カリフォルニア州出身

北海道の酒米を使用した日本酒のPR動画

酒蔵おすすめの日本酒やオンラインショップへのアクセスはこちら

## 道産酒米「吟風」「彗星」「きたしずく」

道内の各酒蔵では、北海道で育成された「吟風」「彗星」「きたしずく」の3種の酒米を使った個性あふれるおいしい日本酒造りに取り組んでおり、酒蔵における道産酒米の使用割合は年々増加し、8割を超えています。

2000年誕生  
 吟風  
 味わい深く芳醇

2006年誕生  
 彗星  
 淡麗辛口ですっきりとした飲み口

2014年誕生  
 きたしずく  
 雑味が少なくやわらかい味



## 酒米品種開発の取り組み

北海道立総合研究機構では、北海道の気候や土壌に適した酒米の育種を進めており、酒造メーカーと協力しながら品種の選定と改良に取り組んでいます。現在は、「吟風」「彗星」「きたしずく」に続く新たな酒米品種の開発を目指し、道内数カ所の酒蔵で大規模醸造試験が実施されています。



## 日本酒アワード

令和7年5月、ブランド力や認知度向上を目的に「吟風」「彗星」「きたしずく」のいずれかを使用して製造した道産日本酒を表彰する「-北海道米でつくる-日本酒アワード2025」が開催され、一般審査員の投票によりグランプリを含めた3銘柄が選ばれました。

日本酒アワード2025 大賞

左からグランプリの三千櫻酒造株式会社、合同酒精株式会社、男山株式会社の皆さん

## 輸出拡大に向けた取り組み

道産日本酒の輸出の拡大に向けて、アジアにおける北海道の優位性を生かしたプロモーション、今後の輸出拡大が期待される欧州における酒蔵の個性とストーリーを生かしたプロモーションを行いました。現地では、チーズやフレンチと合わせたい、どこで購入できるかなど、道産日本酒を求める多くの声が聞かれ、道産日本酒のおいしさや品質の良さが高く評価されました。



## 高校生のマナビバ

新たな視点で学びを深める 道内の高校生の話題をお届けします。

倶知安農業高等学校 日本酒プロジェクト

酒米の栽培から地元酒蔵との連携による日本酒「忠(なかごころ)」の醸造まで一貫して行い、酒粕を原料としたクッキーの開発など、地域振興と食品ロスの削減にも取り組んでいる倶知安農業高校の取り組みを紹介します。

北海道倶知安農業高等学校 左から鈴木響流さん(3年)、高尾仁さん(2年)、大村輝斗さん(3年)

地域と連携したものづくりの経験と知識を今後に生かしたい

令和7年から新たに、酒米「きたしずく」の栽培をはじめました。廃棄されていた酒粕を使ったフィナンシェやマドレーヌも地域の方に「おいしい」と気に入ってもらい、とても励みになりました。地元の酒蔵や企業と協力して、お酒造りやスイーツの開発ができたことは良い経験になりました。20歳になって自分が造った日本酒を飲むことを今から楽しみにしています。

日本酒造りの様子

さらに詳しく! 記事はこちら! ▶▶▶

広告

広告

※この広告は、広告主の責任において掲載しております。

※この広告は、広告主の責任において掲載しております。

北海道内で太陽光発電事業を検討する事業者の方々へ

# 地域との共生に関する 知事からのメッセージ

北海道は、地域と共生できない事業は望みません。地域との共生を大前提に、環境と経済の好循環の実現に向け、良質な投資を促進し、自然と調和して地域とともに歩む事業を応援してまいります。

## 北海道発 共生3原則

- ◎ 関係法令の遵守は絶対
- ◎ 法令違反には厳正に対処
- ◎ 地域との共生が大前提

詳細はこちらから  
ご確認ください



## 関係法令等の遵守の取組

森林法、都市計画法、建築基準法の違反事務取扱要領等を改正

### 〈改正のポイント〉

- ・関係部局・市町村との連携、違反の未然防止など取組強化
- ・悪質性の高い事案は、行政指導を経ずに監督処分を実施
- ・行政指導は3回を限度とし、監督処分の手続きに移行

## 開発行為等に関する道の取組

### 手続確認

#### 関係法令等の手続き(窓口)一覧

道内で建物の建設や土地の造成などの開発行為等を行う際は、さまざまな手続きが必要です。事前にご確認ください。



### 相談窓口

#### 省エネ・新エネ ワンストップ相談窓口

省エネの促進や地域と共生した新エネの導入を検討される方々のご相談にお応えします。



### 通報サイト

#### 安心まちづくりホットライン

都市計画法や建築基準法などに違反した開発・建築行為は、災害時の危険や生活環境の悪化を招くおそれがあります。法令違反と思われる工事などを見かけた際は、情報をお寄せください。



### 情報発信

#### 道の対応を動画で発信

法令に反する開発行為などにより、道民の皆さまに不安や懸念を生じさせる事案が発生しています。道の対応について、正しい情報の発信に努めています。



## 道議会レポート

定例会の概要などをお伝えします。  
令和7年第3回定例会(9/9~10/3)

### 定例会の概要

知事から当面措置を要する経費などについて、所要の予算措置を講じるための令和7年度補正予算案3件と条例案8件、その他の案件15件が提案され、継続審査となったものを除き、原案のとおり議決されました。

また、議員および委員会から提出された意見案3件が原案のとおり可決されました。

### 本会議・予算特別委員会の主な質問

次の取り組みなどについて議論されました。詳細はウェブサイトをご覧ください。

- 防災対策について
  - ・令和7年7月のカムチャツカ半島付近の地震で確認された道路渋滞や避難所の冷暖房などの課題を踏まえ、今後の防災対策の強化にどのように取り組んでいくのか。
  - ヒグマ対策について
    - ・ゾーニング管理の実効性を高

めるための市町村支援など、再発防止に向けた取り組みをどのように進めていくのか。

- ・捕獲事業者が安心して緊急銃弾に対応できるよう、身分保障などの環境整備にどのように取り組んでいくのか。

### ● 農業政策について

・担い手不足や気候変動など多くの課題を踏まえ、次期農業・農村振興推進計画の策定をどのように進めていくのか。

・産地生産基盤パワーアップ事業の今年度終了を踏まえ、今後の基盤整備にどのように取り組んでいくのか。

### ● 観光施策について

・観光客の地域偏在や交通の便、宿泊税の使い道の明確化などの課題を踏まえ、次期北海道観光のくにづくり行動計画の策定をどのように進めていくのか。

### ● 交通政策について

・過疎化により鉄道やバスの減便・路線廃止が続く本道において、持続可能な地方公共交通の確保にどのように取り組んでいくのか。

### 第53回北海道議会議場コンサート



定例会初日に議場コンサートを行いました。札幌日本大学高等学校吹奏楽部が演奏を披露し、聴衆を魅了しました。

### 定例会のお知らせ

令和8年第1回定例会は2月中旬に開会の予定です。議会議中継はスマートフォンでもご覧いただけます。

### ウェブサイトをご覧ください

議会議中継・録画、議会日程、会議録、傍聴・見学案内、議会時報などをご覧ください。

北海道議会 検索

議会事務局  
政策調査課  
TEL.011-204-5691

抽選で20名様に当たる!

## おいしい道産品プレゼント

### JA上士幌町「十勝上士幌 煮豆 3缶入セット」

全国有数の豆の産地、十勝。上士幌の大正金時・福白金時・小豆(各1缶・270g)を贅沢に使用したセットです。甘さを抑えたすっきりとした食感が人気です。



応募期限/1月30日(金)必着

### 応募方法

本紙へのご意見・ご感想(今回の掲載内容について)、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。

### 応募先

〒060-8588(住所不要)北海道広報広聴課  
「広報紙1月号 おいしい道産品プレゼント」係

右の二次元コードからも応募いただけます。応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。



### 次号のお知らせ

次号は2月19日(木)に配布予定です

令和7年10月末時点  
北海道の総人口

5,002,164人(前年同月より48,932人減)

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。



この広報紙は  
環境に優しい  
植物性インキを  
使用しています。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

広告掲載を希望される場合は、道庁広報広聴課へお問い合わせください。

発行/北海道総合政策部知事室広報広聴課 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
TEL.011-204-5110 FAX.011-232-3796

広告